

小児外科（第二外科）

プログラムの概要

<https://geka2-yamanashi.jp/>

1-2年目の選択必修科、または2年目の選択科として、2週間から数カ月の研修を行います。外科を目指す医師はもちろん、将来他の診療科を志望する医師に対しても日常診療で遭遇する外科的処置、手術を学ぶ機会を提供します。

乳幼児を中心とした小児外科疾患を経験することが可能です。

山梨県内では、県立中央病院の小児外科と協力し、より多くの症例を経験することが可能です。是非とも、多くの研修医の皆さんが小児外科に興味を持ち、選択されることを期待しています。



アピールポイント

外科研修の一環として、主として小児の腹部領域の外科疾患に対する診断・治療を習得するよい機会になります。

当科は小児がんに対する外科治療を行う山梨県内唯一の施設です。また、新生児外科領域、腹腔鏡手術も積極的に進めています。

実際の医療は多くの医療者と連携しながら行われます。小児外科は小児の外科診療全般を取り扱うため、小児科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、看護部など様々な医療者と連携する機会が多く、多角的な視点で診療をすすめるよい機会です。

具体的な研修内容

小児外科を選択した研修医は、主治医の一員として患児の診療に参加します。消化管造影、超音波検査などの診断法、保存的治療、外科治療、周術期の管理を実践的に学びます。

選択科として一定期間の研修を行った場合には術者となる機会を得られることがあります。

稀な症例や興味ある治療法を経験した場合、学会報告や論文作成に積極的に取り組むことを期待します。